

# ★チャレンジ！夢に向かって★

～ふるさとを愛し、一人一人が「か・が・や・く」国見の子の育成～

## 授業拝見、おじゃまします！！（3・4年複式学級）

12月12日（木）の2校時に行った3・4年複式学級の算数の授業に、清水小学校の〇〇〇〇校長先生と〇〇〇〇先生が授業参観に来てくださいました。

保護者の皆様は既に御存じのことと思いますが、複式学級というのは、国の「公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律」を受けて、県内の小学校では「2つの学年の児童数の合計が16名以下（ただし、1年生を含む場合は8人以下）で複式学級とする」ことになっています。本校では、平成26年度から複式学級が設置されました。複式学級では2つの学年が異なる学習内容を学ぶことになるため、基本的には学級担任が2つの学年を交互に指導することになります。つまり、学級担任が一方の学年を教えている間、他方の学年は支援員の先生のサポートを得ながら自分たちで学習を進めていくこととなります。ここが複式授業の難しいところです。

そのため、今年度は3・4年複式学級の担任で研究主任の〇〇〇〇先生を中心に複式授業の研究に取り組んできました。

今回の授業では3年生が「分数の意味と表し方」、4年生が「分母が同じ分数の減法」という違う学習内容について、3年生は〇〇〇〇さん、4年生は〇〇〇〇さんが学習リーダーとなり、子どもたちが中心となって学習を進めました。

授業参観した清水小学校の〇〇〇校長先生からは「実際の授業の進め方はもちろんのこと、実に生き生きと子どもたちが学んでいる様子に感動しました。『自分たちが主役となる学習』の楽しさや学びがい、複式学級で学ぶよさに満ちた授業でした。」と子どもたちや授業の様子を褒めていただきました。

複式授業を子どもたちの主体性が身に付くための強みと捉え、今後とも学校全体で授業改善に取り組み、学力向上につなげていきたいと考えています。そして、来年度はさらに質の高い複式授業を行うことができるよう、授業実践を積み重ねていきたいと思っています。

